

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 14 週(3 月 31 日～ 4 月 6 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 気になる話題 海外渡航者の麻しん感染者が急増しています

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	4.83	(7.52)	↓	↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	3.44	(3.53)	→	→	→	→
3	水痘	0.74	(1.24)	↘	↓	↗	↗
4	突発性発しん	0.44	(0.24)	↑	↑↑	↗	↑↑
5	A群溶連菌咽頭炎	0.41	(0.53)	↘	↓	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの患者数も順調に減少しており、全体的に患者数は少ない状態です。例年この時期には、春の感染性胃腸炎患者が増加しますが、ロタウイルスのワクチン接種が積極的に実施されたためか、この時期としては、これまでになく患者数が少なくなっています。

◆これからお母さん・お父さんになる大人の方々 また その周りの方々へ

風しんは、春から夏にかけて、これから流行が始まります。昨年の大流行時にワクチン接種を受けていない方で、これまでワクチン接種歴・風しん罹患歴の無い方は、今年こそ必ずワクチン接種を受けてください。また、お母さんになる人だけがワクチン接種してればいいというものではありません。周りの人が持ち込まない・増やさないためにも、周りの方々(親族・同僚)のワクチン接種もお願いします。

なお、**風しんと麻しん(はしか)**は、同時に混合ワクチン(MR ワクチン)で接種できます。海外帰りの麻しん(はしか)患者が増加しており、また、そこから国内で拡がりつつあります。麻しん(はしか)は感染力が強く、ワクチン接種していないと、必ず感染します。麻しん(はしか)の患者が増加しているのが、ワクチン接種率が低いとすれば、同時に接種できる風しんの接種率も十分ではないかもしれません。昨年度のような大流行起こさないためにも、生まれてくる赤ちゃんのためにも、ワクチンを接種しましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

春休みとなり外来患者数は徐々に減少してきた。インフルエンザは先々週までは流行状態にあったが、先週には一気に減少し、B 型が散見される程度です。感染性胃腸炎も少なく、ロタウイルスを疑わせる症状の乳幼児はまだみられない。2 年前からのワクチンの効果が出てきたかもしれない。水痘が保育園児を中心に流行してきた。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はインフルエンザの減少、春休みにより僅かに減少。インフルエンザはかなり減少したが、まだA型の5才男児例が1例あった。

発熱の例でアデノ様咽頭所見の例が多いが感度に問題があるのかキット陽性例はない。

小流行であったRSは今週になって減少。感染性胃腸炎はノロ様の嘔吐例があるが、キットでは陰性。ロタは予防接種の効果か今冬は殆どなかった。

他に流行性耳下腺炎、水痘、A群溶連菌感染症があった。

南部地区(県立五條病院小児科)

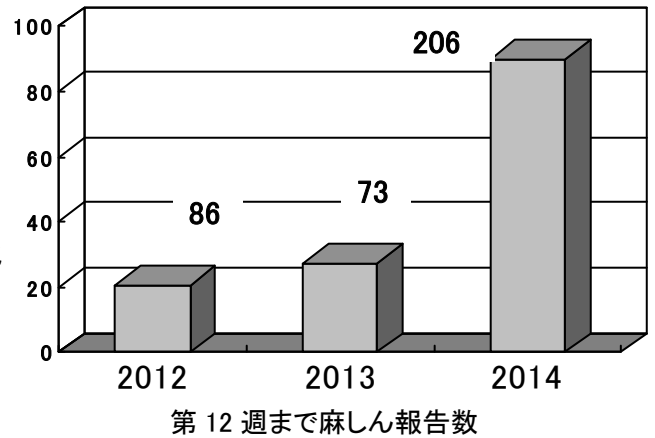
インフルエンザ B 型の流行も減少してきた。A 型は殆どみられない。

ウイルス性胃腸炎は増加、便性はロタウイルス様だが、迅速検査陰性例では対症療法で比較的軽い経過をとっている。

海外渡航者の麻しん感染者が急増しています

2014年第12週(3/17~23)までに全国で麻しんと診断された報告数が206例と昨年同週(73例)と比べ2.8倍増加しています。

報告数が多い都道府県は東京都34例、静岡県23例、千葉県22例、京都府21例、埼玉県18例、大阪府15例、神奈川県14例などで首都圏周辺と地方都市の静岡県、京都府などで増加が目立っています。



全国的に海外感染者が増加

国立感染症研究所は、2013年11月から2014年1月末までの集計で感染報告例の39%が海外で感染していたことから、全国的な増加要因として輸入例を指摘しています。

輸入症例の主な感染地域はフィリピンが71%、スリランカが8%、インドネシアが8%でした。これらの感染者のウイルス検査をおこなったところ、フィリピンではB3型、インドネシアではB3型が多く検出されたことから、これまでのわが国の常在ウイルス(D5型)とは異なっています。

本県での麻しん患者発生

2014年4月、フィリピン・セブ島渡航者から麻しんウイルスを検出しました。ウイルス検査の結果これまでにフィリピン感染者と同じ型のB3型でした。

予防対策

麻しん流行地域への渡航を希望する人は、自身のワクチン接種暦を確認の上、必要であればワクチン接種を行うことを薦めます。

麻しん・風しん混合ワクチンについて

(定期接種時期と回数)

- ・ 第1期:1歳代で1回接種。
- ・ 第2期:小学校入学の前年(幼稚園や保育園の年長クラス)。1回接種。
(定期予防接種については、お住まいの市町村にお問い合わせ下さい)

(おすすめの受け方)

1歳になったらすぐ、「1歳の誕生日」に受けましょう。

(流行地域への渡航予定者)

自分のワクチン接種暦を確認の上、必要であれば接種を行いましょう。

(感染症情報センター)

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 14 週 3 月 31 日 ~ 6 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	261 (4.83)	41 (3.73)	92 (5.75)	44 (4.00)	58 (5.27)	6 (3.00)	20 (6.67)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	2 (0.06)			1 (0.14)	1 (0.14)			
咽頭結膜熱	11 (0.32)	1 (0.14)	2 (0.20)		8 (1.14)			
A群溶連菌咽頭炎	14 (0.41)	5 (0.71)	2 (0.20)	3 (0.43)	4 (0.57)			
感染性胃腸炎	117 (3.44)	25 (3.57)	38 (3.80)	10 (1.43)	34 (4.86)	4 (4.00)	6 (3.00)	
水痘	25 (0.74)	6 (0.86)	4 (0.40)	3 (0.43)	9 (1.29)		3 (1.50)	
手足口病								
伝染性紅斑	3 (0.09)	3 (0.43)						
突発性発しん	15 (0.44)	2 (0.29)	7 (0.70)	1 (0.14)	4 (0.57)	1 (1.00)		
百日咳								
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.10)					
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.14)		1 (0.14)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	2 (0.22)	1 (1.0)	1 (0.3)				-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)					1 (1.00)	-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)		-	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市3件、郡山1件、葛城1件)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	麻疹1件(桜井1件)

❖ 第 14 週のトピックス ❖

麻疹(はしか)の患者数が増えています(県庁保健予防課)

<http://www.pref.nara.jp/item/118834.htm#moduleid17426>

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/pdf/140409_01.pdf

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	1	6	5	5	8	9	8	7	2	3	10	18	6	6	10	6	2	7	3	123	5491
	女	1		3	3	5	10	4	12	6	4	4	14	9	5	19	14	12	8	5		138	5555
RSウイルス感染症	男		1																			1	120
	女		1																				1
咽頭結膜熱	男		1		1				2													5	84
	女		1	3	1					1												6	72
A群溶連菌咽頭炎	男				1	2	1	1	1	2												6	184
	女				2	1	1	1	1	1			2									8	166
感染性胃腸炎	男		3	7	7	7	3	3	3	5	2	3	5	4	7							59	1145
	女	1	5	6	8	1	2	7	2	1		2	6	7	10							58	1077
水痘	男		3	3	2	3	3			1	1											16	207
	女		1	1		1	1	2	2				1									9	185
手足口病	男																						2
	女																						4
伝染性紅斑	男							2	1													1	7
	女																					2	11
突発性発しん	男	1	5	4																		10	62
	女		3	1	1																	5	36
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男				1																	1	1
	女																						3
流行性耳下腺炎	男								1													1	19
	女									1												1	19
急性出血性結膜炎	男												1									1	21
	女															1						1	21
細菌性髄膜炎	男																					1	1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						3
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																					1	1
	女		1																			1	1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						10
	女		1																			1	6

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

